

小学校 社会科 事例を通じた評価の具体例

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 P52～61

社会科 事例2
キーワード 「内容のまとめり」ごとに長期的な視点で行う評価/「主体的に学習に取り組む態度」の評価

単元名
単元1「火災から人々の安全を守る」
単元2「事故や事件から人々の安全を守る」

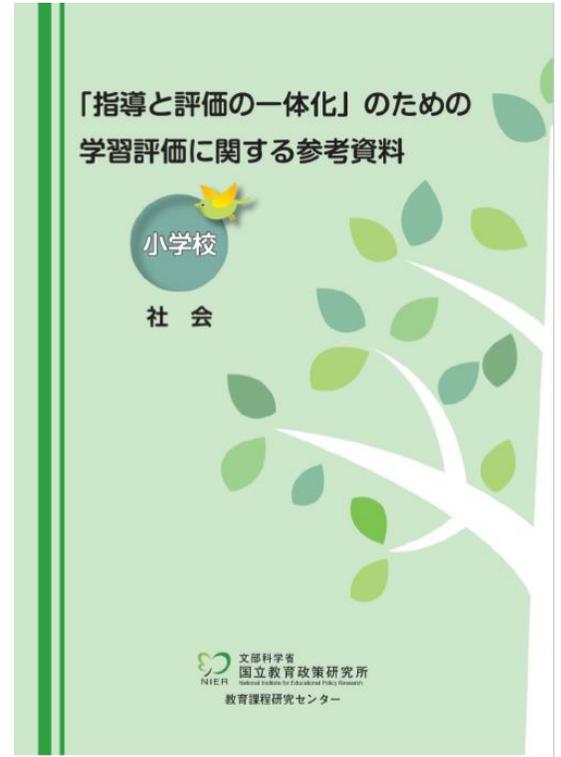
内容のまとめり
第3学年
内容(3)「地域の安全を守る働き」

1 指導と評価の計画

(1) 単元1「火災から人々の安全を守る」の計画(7時間)

① 単元の目標

火災から地域の安全を守る働きについて、消防署などの施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、消防署などの関係諸機関や地域の人々の相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、消防署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

②単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①消防施設・消防設備などの配置，緊急時への備えや対応などについて，消防署などの関係機関や関連する施設を見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。</p> <p>②調べたことを白地図や図表，文などにまとめ，消防署などの関係機関は，地域の安全を守るために，相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや，関係機関が地域の人々と協力して火災などの防止に努めていることを理解している。</p>	<p>①消防施設・消防設備などの配置，緊急時への備えや対応などに着目して，問いを見いだし，関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。</p> <p>②連携・協力している関係機関の働きを比較・分類したり，関連付けたりして消防署などの関係機関の相互の関連を考えたり，関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を関連付けて，従事する人々の働きを考え，表現している。</p>	<p>①火災から地域の安全を守る働きについて予想や学習計画を立てたり，学習を振り返ったりして，学習問題を追究し，解決しようとしている。</p>

※作成手順は「令和2年度 全県教育課程説明会 社会科部会(小学校)」を参考にしてください

③指導と評価の計画(全7時間)

時間	ねらい・学習活動	評価規準(評価方法)
1	地域の安全な暮らしを守る働きについて、学習問題を作ることができるようにする。	○ノートの記事や発言の内容から「地域の安全を守るための関係機関や人々、その働きに着目して、問いを見いだしているか」を評価する【思①】
2	火事から地域の安全を守るための働きについて単元の学習問題をつくり、学習計画を立てることができるようにする。	○ノートの記事や発言の内容から「火災の際に安全を真持つための関係機関や人々の働きに着目して、問いを見いだしているか」を評価する【思①】 ○活動の様子やノートの記述から「火災から地域の安全を守る働きについて、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。【態①】
3	消防署の人たちがどのような働きをしているか理解できるようにする。	○見学カードやノートの記述内容から「緊急時への備えや対応などについて、消防署を見学・調査し、必要な情報を集め、読み取り、消防署は緊急時に対処する体制を取っている。【知①】
4	火事が起きたときの関係機関の働きを理解できるようにする。	○ノートの記述内容や発言内容から「緊急時への対応などについて、通信指令室の働きを基に必要な情報を集め、読み取り、関係機関は火災の時、緊急時に対処する体制をとっていることを理解する【知①】
5	身近な消防施設の働きについて理解できるようにする。	○ノートの記述内容や発言内容から「消防施設・消防整備などの配置などについて。地域の消防施設の分布や働きをもとに必要な情報を集め、読み取り、関係機関が地域の人々と協力して火災などの防止に努めていることを理解しているか」を評価する。【知①】
6	火災発生時や、火災予防のための関係機関と地域の人々の諸活動について考えることができるようにする。	○ノートの記述内容や発言内容から「地域の消火・防火についての取り組みを調べ、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現しているか」を評価する【思①】
7	火事から安全を守る人々の働きについてまとめることができるようにする。	○ノートや関係図の記事内容から「消防署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解しているか」と評価する【知②】 ○ノートや関係図の記事内容から「連携・協力している関係機関の働きを比較・分類したり、関連付けたりして関係機関の相互の関連を考えたり、関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を関連付けて、従事する人々の働きを考えたりして表現しているか」を評価する【思②】

(2) 単元2「事故や火災から人々の安全を守る」の計画(8時間)

① 単元の目標

事故や事件から地域の安全を守る働きについて、警察署などの施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、警察署などの関係諸機関や地域の人々の相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故や事件の防止に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に地域の安全を守るために地域社会の一員として自分たちができることを考えようとする態度を養う。

②単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り 組む態度
<p>①警察署などの施設・設備などの配置，緊急時への備えや対応などについて，警察署などの関係機関や関連する施設を見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。</p> <p>②調べたことを白地図や図表，文などにまとめ，警察署などの関係機関は，地域の安全を守るために，相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや，関係機関が地域の人々と協力して事故や事件などの防止に努めていることを理解している。</p>	<p>①警察署などの施設・設備などの配置，緊急時への備えや対応などに着目して，問いを見いだし，関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。</p> <p>②連携・協力している関係機関の働きを比較・分類したり，関連付けたりして警察署などの関係機関の相互の関連を考えたり，関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を関連付けて，従事する人々の働きを考えたり，学習したことを基に地域や自分自身を守るためにできることを考えたり選択・判断したりして表現している。</p>	<p>①事故や事件から地域の安全を守る働きについて予想や学習計画を立て，学習を振り返ったり見直したりして，学習問題を追究し，解決しようとしている。</p> <p>②学習したことを基に地域の安全を守るために自分たちができることを考えようとしている。</p>

※作成手順は「令和2年度 全県教育課程説明会 社会科部会(小学校)」を参考にしてください

③指導と評価の計画(全8時間)

時間	ねらい・学習活動	評価規準(評価方法)
1	火災の学習を振り返り、事故や事件から地域の安全を守るための働きについて学習問題を作り、学習計画を立てることができるようにする。	○ノートの記述や発言内容から「安全を守るための関係機関や人々、その働きに着目して、問いを見いだしているか」を評価する。【思①】 ○発言の内容やノートの記述から「単元1の追究の過程を振り返り、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。【態①】
2	警察がどのような仕事をしているか理解できるようにする。	○見学カードやノートの記述内容から「警察署を見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、警察の諸活動を理解しているか」を評価する。【知①】
3	事故が起きた時の関係機関の働きを理解できるようにする	○見学カードやノートの記述内容から「通信指令室の働きを基に必要な情報を集め、読み取り関係機関は事故の際、緊急時に対処する体制をとっていることを理解しているか」を評価する。【知①】
4	地域の安全を守る施設や活動について理解できるようにする。	○見学カードやノートの記述内容から「安全を守るための施設・設備について、必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々は事故や事件を防止する体制をとっていることを理解しているか」を評価する。【知①】
5	地域の安全を守るための関係機関や地域の人々の諸活動について考えることができるようにする。	○見学カードやノートの記述内容から「地域の事故や事件を防止する取り組みを調べ、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現しているか」を評価する。【思①】
6	事故や事件から安全を守る人々の働きについてまとめることができるようにする	○ノートの記述内容から「調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故や事件などの防止に努めていることを理解しているか」を評価する。【知②】
7	消防と警察を比べ、安全を守る仕事に就いてまとめることができると共に、二つの単元の学習を振り返り、さらに調べるべきことを見いだすことができるようにする。	○発言の内容やノートの記述内容から「消防と警察のそれぞれの関係機関の働きを比較・分類したりして、関係機関の相互の関連を考えたり、関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を関連付けてまちの安全を守る仕事に従事する人々に共通する働きを考えたりして表現しているか」を評価する。【思②】 ○発言内容やノートの記述内容から「これまでの学習を振り返り、さらに調べるべきことを見だし、見通しをもって追究しようとしているか」を評価する。【態①】
8	地域の安全を守るために、自分たちができることを考えようとする態度を養う。 【まとめる】	○発言内容やノートの記述内容から「連携・協力している県警機関の働きを比較・分類したり、関連付けたりして学習したことを基に地域や自分自身を守るためにできるところを考えたり洗濯・判断したりして表現しているか」を評価する。【思②】 ○安全宣言の記述内容から「学習したことを基に完全を守るためにできることを考えようとしているか」を評価する。【態②】

2 観点別学習状況の評価の進め方

本事例では、以下の点に留意して観点別に学習状況の評価を進めた。

(1)「内容のまとめり」を意識して指導計画を立てるための工夫

この「内容のまとめり」は多くの学校で「火災」と「事故や事件」に関する二つの単元で構成される。その結果、二つの単元において同様の評価規準での評価が重複する現状が見られる。そこで本事例では、学習指導要領の「内容のまとめり」や内容の取扱いを踏まえ、二つの単元の学習を通して3観点の評価場面をバランスよく設けることや、単元1の学習を単元2で生かす場面を設定することを意識して指導と評価の計画を作成した。

2 観点別学習状況の評価の進め方

(2) 児童の学習状況を的確に把握し、指導に生かす工夫

単元1での児童の姿を見取ることによって、単元2では、児童の姿をよりの的確に把握することができる。例えば、本事例では、学習問題について、予想や学習計画を立てている学習状況を【態一①】の評価規準で評価している。単元1と単元2で、ほぼ同様の学習場面であるため、予想や学習計画が適切に立てられていない児童がいれば、単元1の学習を例に挙げて指導したり、友達の考えを参考にしよう助言したりすることができた。このように、「内容のまとめ」ごとに長期的な視点で指導計画を立てることによって、児童の学習状況をよりの的確に把握し、指導に生かすことができた。

本事例の「主体的に学習に取り組む態度」については、「内容のまとまりごとの評価規準」と「単元の評価規準」において以下のように示されています。

(内容のまとまりごとの評価規準)

主体的に学習に取り組む態度
地域の安全を守る働きについて主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。



(単元の評価規準)

主体的に学習に取り組む態度
①地域の安全を守る働きについて予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に地域の安全を守るために自分たちができることを考えようとしている。

主体的に問題解決しようとする態度の評価場面例

① 予想や学習計画を立てる。

単元導入時に、児童が学習問題をつかむ際、問題解決に向けて、予想を立てたり、解決までの見通しをもったりする場面の評価事例である。本事例では、活動の様子やノートの記述内容から、学習問題に対する予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているかを評価した。

単元導入時に予想や学習計画を立てる場面

【態－①】 単元1 「火災から人々の安全を守る」 2/7

《活動の様子やノートの記述内容から》

火事のとき、消防士さんが現場で消火活動をしているのだと思います。その他にも火事から地域を守るために、誰かが何かをしているかもしれないので、今から調べていきたい。教科書で調べたり、消防署の見学をしたりして調べ、火事から地域の安全を守っている人とその働きを明らかにしたいです。

【評価方法】

活動の様子やノートの記述内容から、「火災から地域の安全を守る働きについて、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。

【教師の評価と指導】

- 学習問題に対する予想を立てている。
 - 学習問題の解決に向けて、見通しをもっている。
- 以上のことから「おおむね満足できる」状況(B)と判断した。
*「努力を要する」状況(C)と判断される児童に対しては、今までの学習を振り返ったり、友達の考えを参考にしたりするよう指導した。

ポイント！！

学習問題に対する予想を立て、解決のための見通しをもっているかを見取る。

② 学習状況を確認し、さらに調べるべきことを考える。

児童が学習状況を確認し、さらに調べるべきことを考える場面の評価事例である。第1は、単元1の学習を振り返り、単元2の予想や学習計画を立てる場面である。ここでは、単元1の学習状況を確認し、その学習を生かして、単元2でさらに調べるべきことを考えようとしているかを評価した。

単元1の学習を振り返り、単元2の予想や学習計画を立てる場面

【態一①】 単元2「事故や事件から人々の安全を守る」 1/8

《発言の内容やノートの記事内容から》

火災の時は、だれが、どこで、どのような働きをしているかという視点で、教科書や見学を通して調べて解決したよ。事故や事件も、地域の安全を守るための働きを同じ視点で見たいと思う。きっと、警察や地域の人など様々な人の働きがあると思う。また、教科書や見学を通して問いを解決していきたい。

【評価方法】

発言の内容やノートの記事内容から、「単元1で立てた追究の過程を振り返り、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。

【教師の評価と指導】

- 「火事の際は…」や「同じ視点で…」などの記述から、前単元の学習状況を振り返っている。
 - さらに調べるべきことを考え、学習問題の予想や学習計画を立てている。
- 以上のことから「おおむね満足できる」状況(B)と判断した。
*「努力を要する」状況(C)と判断される児童には、前単元の学習を振り返ったり、友達の考えを参考にしたりするよう指導した。

ポイント！！

前単元の学習状況を振り返り、さらに調べるべきことを考え、新たな予想や、学習計画を立てているかを見取る。

第2は、単元2の終末でさらに調べるべきことを考える場面である。本事例では、消防と警察の働きを学習した上で、「自分たちは何ができるだろう」というさらに調べるべき課題を見いだそうとする姿を評価した。

単元2の終末でさらに調べるべきことを考える場面

【態－①】 単元2 「事故や事件から人々の安全を守る」 7/8

《発言の内容やノートの記事内容から》
 今まで地域の安全を守るために誰が、どこで、何をしているかを調べてきた。地域の安全を守るために、多くの人が毎日、工夫や努力をしてくれている。自分たちは多くの人に守られているが、地域の安全をもっと守るためには、自分たちにもできることがあるのではないだろうか。次はその問題を解決したい。

【評価方法】

発言内容やノートの記述内容から「これまでの学習を振り返り、さらに調べるべきことを見だし、見通しをもって追究しようとしているか」を評価する。

【教師の評価と指導】

- これまでの二つの単元の学習状況を振り返っている。
 - さらに調べるべき課題を見いだしている。
- 以上のことから「おおむね満足できる」状況(B)と判断した。
 ＊「努力を要する」状況(C)と判断される児童には、「この人たちの働きだけで安全は守られる？」と問い、自分たちができることを考えられるよう指導した。

ポイント！！

今までの学習状況を振り返り、さらに調べるべきことを明らかにしようとしている姿を見取る。

よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度の評価場面例

【態一②】の「学習したことを基に地域や自分自身を事故や事件から守るために自分たちができることを考えようとしている」では、学習問題を解決する過程で得たことを根拠によりよい社会の実現に向けて考えようとする態度を評価する。

「よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度」

【態一②】 単元2 「事故や事件から人々の安全を守る」 8/8

《活動の様子やノートの記事内容から》
 火事や事件、事故から地域の安全を守るために、多くの方が予防や対処に努めていた。地域の安全を守るために、私も地域の一員として、地域で開催されている避難訓練に積極的に参加したい。また、火事や事故を起こさないように、火の扱いに注意したり、交通ルールを守ったりしたい。

【評価方法】

安全宣言の記事内容から「学習したことを基に安全を守るためにできることを考えようとしているか」を評価する。

ポイント！！

学習したことを基に、地域や社会において自分ができている姿を見取る。

【教師の評価と指導】

- 学習したことを基に考えている。
 - 地域の一員として自分ができていることを考えている。
- 以上のことから「おおむね満足できる」状況(B)と判断した。
 *「努力を要する」状況(C)と判断される児童には、友達との対話を通して、気が付くように支援した。

【多様な評価方法で見取る】

本事例では、ノートの記述内容やレポート、授業中の発言、教師による行動観察や児童による自己評価や相互評価等の状況など、多様な評価方法をとることを心掛けた。

また、主体的に学習に取り組む態度と知識及び技能の習得、思考・判断・表現のつながりを意識し、児童が学習問題や問いに対して主体的に関わっているかに重点を置いて評価した。他の観点の学習状況と照らし合わせながら、児童の問題解決への主体的な関わりを評価し、指導改善を図ることが重要であると考えたからである。